

民主党神戸市会議員団 News

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

平成25年第1回定例会市会(2月19日～6月26日)が開会され、2月議会(2月19日～3月28日)が開催されました。本年から2会期制が導入され、予算案等を審議する今回の議会は、2月議会と称されます。また、代表質疑のほか議員個人が行う「一般質問」も導入されました。民主党神戸市会議員団を代表して、川内きよなお議員が平成25年度当初予算並びに関連議案について、市長、副市長に質疑を行いました。

平成25年 第1回定例会市会 2月議会 代表質疑

アジア経済戦略について

Q 神戸市では「神戸市アジア進出支援センター」を立ち上げ、中小企業の支援を行っているが、現地の生の情報をどのように集め、情報共有を行っているのか？

A アジア経済は日々ダイナミックに変化する。センターでは、「登録アドバイザー」を確保し、その人脈から最新の現地情報を収集できるようにしている。また、隣接するジェトロ神戸や海外に現地事務所を有する外国政府機関、金融機関より、現地の最新情報を入手できるよう努力している。海外進出を検討する企業のベトナム・タイへの企業訪問を実施のほか、現地で活躍する企業の方を講師に講演なども実施し、情報共有を図っている。



発達障がいの療育支援について

Q 発達障がいの子どもは、できるだけ早期に居住地の近くで療育が受けられるよう拡充すべきだが？

A 最近、発達障がいの周知が進むにつれ、相談が増加している。保護者からの療育希望や相談も増え、総合療育センターでの相談・判定・リハビリ訓練の待機も長くなっており、課題となっている。一方、児童福祉法改正により、H27年4月までに、旧障がい児通園施設を3障がい対応や地域支援機能を付した「児童発達支援センター」として機能拡充する必要がある。療育体制の見直しを行い、長田区にある「総合療育センター」を中心に、旧知的障害児通園施設「ひまわり学園」「のぼら学園」を東西の療育拠点として再整備していきたい。

公共交通が生み出す街の活性化について

Q 都心市街地を自動車の乗り入れを制限し、LRTなどによる公共交通の街にすることで街の活性化にもつながられるのでは？

A H23年3月に、「港都神戸」ランドデザインを策定した。H25年度は、磯辺線で自転車レーンの整備のほか、鯉川筋周辺において歩行者中心の交通社会実験を実施する。人と環境に優しい路面電車のLRTは、広幅員の道路が必要で、ルート設定や採算性の課題もある。BRTや電気バスなども開発されてきており、今後、これらを都心・ウォータフロント全体の進捗の中で環境に優しい公共交通システムを検討していきたい



議長

藤原武光(垂水区)



大寺まり子(兵庫区)



岩田よしあき(西区)



たじ裕規(灘区)



川原田弘子(垂水区)

第二分科会
副委員長



人見誠(北区)



川内きよなお(垂水区)



さきもと祐治(須磨区)



池田りんたろう(北区)

第一分科会



平木ひろみ(中央区)



大井としひろ(須磨区)



前島浩一(西区)



伊藤めぐみ(北区)

理事
第一分科会

予算特別委員会